

2026年12月期 中間決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年 8 月14日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 J S e c u r i t y
コード番号 481A URL http://www.jsecurity.co.jp/
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 今村 誉一
問合せ先責任者 （役職名） 取締役 経営管理部長 （氏名） 小林 拓矢 TEL 03（4567）2823
中間発行情報提出予定日 2026年 9 月30日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年12月期中間期の連結業績（2026年 1 月 1 日～2026年 6 月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期中間期	462	—	124	—	126	—	82	—
2025年12月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

（注）包括利益 2026年12月期中間期 78百万円（－％） 2025年12月期中間期 一百万円（－％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期中間期	31.12	30.76
2025年12月期中間期	—	—

（注）2026年12月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2025年12月期中間期の数値及び対前年中間期増減率並びに2026年12月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期中間期	5,090	228	4.5
2025年12月期	—	—	—

（参考）自己資本 2026年12月期中間期 228百万円 2025年12月期 一百万円

（注）2026年12月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、2025年12月期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	0.00	0.00	0.00
2026年12月期	0.00		
2026年12月期（予想）		0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年12月期の連結業績予想（2026年1月1日～2026年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
通期	百万円 1,009	% —	百万円 243	% —	百万円 255	% —	百万円 166	% —	円 銭 61.30

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

詳細につきましては、本日（2026年8月14日）公表いたしました「連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 2026年12月期中間期より中間連結財務諸表を作成しているため、対前期増減率については記載しておりませ
ん。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) JSecurity X, Inc. 除外 1社 (社名) 1

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期中間期	2,874,000株	2025年12月期	2,724,000株
② 期末自己株式数	2026年12月期中間期	105,500株	2025年12月期	171,500株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年12月期中間期	2,654,931株	2025年12月期中間期	2,724,000株

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	- 2 -
(1) 当中間期の経営成績の概況	- 2 -
(2) 当中間期の財政状態の概況	- 2 -
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	- 2 -
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	- 3 -
(1) 中間連結貸借対照表	- 3 -
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	- 5 -
中間連結損益計算書	- 5 -
中間連結包括利益計算書	- 6 -
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	- 7 -
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	- 8 -
(セグメント情報等の注記)	- 8 -
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	- 8 -
(継続企業の前提に関する注記)	- 8 -

1. 経営成績等の概況

当社グループは、2026年5月15日付でJSecurity X Inc.を設立し、連結子会社化したことに伴い、当中間連結会計期間より中間連結財務諸表を作成しているため、前中間連結会計期間及び前連結会計年度末との比較分析は行っておりません。

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、継続的な賃上げや雇用環境の改善を背景として、緩やかな回復基調で推移いたしました。一方で、エネルギー価格の上昇に伴う物価高の影響などによる下押し圧力も根強く、一進一退の状況が続きました。

世界経済におきましては、各国の通商政策の変化や中東情勢の緊迫化など地政学リスクの高まりに加え、原材料価格や物流コストの上昇などもあり、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

情報セキュリティ業界におきましては、ランサムウェアやサプライチェーンを標的としたサイバー攻撃が継続して発生するとともに、生成AIの普及に伴い、AIを悪用したサイバー攻撃や情報漏えいリスクへの対応が新たな課題となっております。こうした環境のもと、従来型の境界防御に加え、ランサムウェア対策、脆弱性管理及び生成AI利用に伴うセキュリティ対策など、侵入を前提とした多層的なセキュリティ対策への投資が拡大しております。また、政府によるサイバーセキュリティ政策や経済安全保障への取組みも進展しており、企業に求められる情報セキュリティ水準は一層高度化しております。

以上の結果、当中間連結会計期間の経営成績は、売上高462,161千円、営業利益124,264千円、経常利益126,751千円、親会社に帰属する中間純利益82,631千円となりました。

なお、当社は情報セキュリティ事業の単一セグメントであるため、記載は省略しております。

(2) 当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当中間連結会計期間末における流動資産の残高は4,549,114千円となりました。この主な内訳は、現金及び預金2,298,940千円、前払費用2,219,251千円等であります。

(固定資産)

当中間連結会計期間末における固定資産の残高は541,233千円となりました。この主な内訳は、ソフトウェア仮勘定108,900千円、投資有価証券187,000千円、出資金207,386千円等であります。

(流動負債)

当中間連結会計期間末における流動負債の残高は4,861,943千円となりました。この主な内訳は、契約負債4,741,093千円等であります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産の残高は228,404千円となりました。この主な内訳は、利益剰余金207,298千円等であります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、1,798,940千円となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により獲得した資金は、692,162千円となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益126,751千円に対し、増加要因として、契約負債の増加額1,263,584千円があり、減少要因として、前払費用の増加額641,644千円があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、598,227千円となりました。これは主に、定期預金の預入による支出500,000千円、無形固定資産の取得による支出38,900千円、出資金の払込による支出66,478千円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、18,918千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出20,520千円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年12月期通期の連結業績予想につきましては、本日（2026年8月14日）公表いたしました「連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部	
流動資産	
現金及び預金	2,298,940
売掛金	28,816
商品	745
前払費用	2,219,251
その他	1,360
流動資産合計	4,549,114
固定資産	
有形固定資産	
工具、器具及び備品（純額）	3,103
有形固定資産合計	3,103
無形固定資産	
ソフトウェア	20,096
ソフトウェア仮勘定	108,900
その他	124
無形固定資産合計	129,120
投資その他の資産	
投資有価証券	187,000
出資金	207,386
繰延税金資産	2,325
その他	12,296
投資その他の資産合計	409,009
固定資産合計	541,233
資産合計	5,090,348

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部	
流動負債	
買掛金	29,864
未払法人税等	39,504
契約負債	4,741,093
その他	51,481
流動負債合計	4,861,943
負債合計	4,861,943
純資産の部	
株主資本	
資本金	50,075
資本剰余金	20,579
利益剰余金	207,298
自己株式	△54,142
株主資本合計	223,810
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	5,626
為替換算調整勘定	△1,032
その他の包括利益累計額合計	4,594
純資産合計	228,404
負債純資産合計	5,090,348

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
売上高	462,161
売上原価	140,792
売上総利益	321,368
販売費及び一般管理費	197,104
営業利益	124,264
営業外収益	
受取利息	1,676
為替差益	62
助成金収入	800
その他	43
営業外収益合計	2,582
営業外費用	
支払利息	95
営業外費用合計	95
経常利益	126,751
税金等調整前中間純利益	126,751
法人税、住民税及び事業税	39,744
法人税等調整額	4,375
法人税等合計	44,119
中間純利益	82,631
親会社株主に帰属する中間純利益	82,631

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年6月30日)
中間純利益	82,631
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△3,369
為替換算調整勘定	△1,032
その他の包括利益合計	△4,401
中間包括利益	78,230
(内訳)	
親会社株主に係る中間包括利益	78,230

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当中間連結会計期間 (自2026年1月1日 至2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前中間純利益	126,751
減価償却費	3,122
賞与引当金の増減額(△は減少)	△10,886
受取利息	△1,676
支払利息	95
為替差損益(△は益)	△179
売上債権の増減額(△は増加)	△3,632
棚卸資産の増減額(△は増加)	△459
前払費用の増減額(△は増加)	△641,644
仕入債務の増減額(△は減少)	△6,231
契約負債の増減額(△は減少)	1,263,584
その他	△7,239
小計	721,604
利息の受取額	1,676
利息の支払額	△116
法人税等の支払額	△31,001
営業活動によるキャッシュ・フロー	692,162
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△500,000
有形固定資産の取得による支出	△1,397
無形固定資産の取得による支出	△38,900
出資金の払込による支出	△66,478
出資金の払戻による収入	12,868
その他	△4,320
投資活動によるキャッシュ・フロー	△598,227
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入金の返済による支出	△20,520
新株予約権の行使による自己株式の処分による収入	1,452
新株予約権の行使による株式の発行による収入	150
財務活動によるキャッシュ・フロー	△18,918
現金及び現金同等物に係る換算差額	△812
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	74,204
現金及び現金同等物の期首残高	1,724,736
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,798,940

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

当社は、情報セキュリティ事業の単一セグメントであるため、記載は省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。